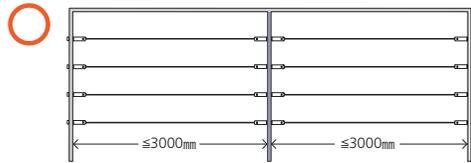


⚠ 施工上の注意事項

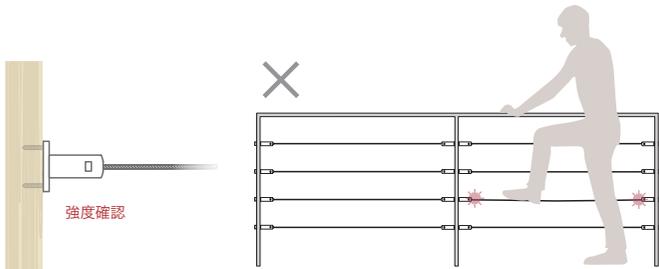
- 施工には専門的な知識を必要とするため、施工知識がない方の独自の判断で施工・加工はしないでください。
- 施工は図面に基づいて計画的に行ってください。
- ワイヤールールズ製品は定期的なメンテナンスが必要となりますので施工業者とご相談の上ご使用ください。
- 本製品は主にステンレスなどを使用しておりますが、海岸近くや使用環境により錆が発生する事があります。

テンションワイヤーシステム

- テンションワイヤーの取付寸法は標準3m程度で、それ以上は金具を連結して使用することを推奨いたします。



- ターミナル本体を取付ける支柱は厚みのある丈夫なものにしてください。
- ワイヤーに張力をかけ過ぎた場合や、取付下地の支柱が薄いフラットバーは曲がったりする場合がありますので張力を調整の上ご使用ください。
- 木製柱に取付ける場合、専用の座金に長いビスで固定し強度を高めてご使用ください。
- 足などでワイヤーに無理な負荷をかけるとターミナル本体の破損の原因になりますのでご注意ください。



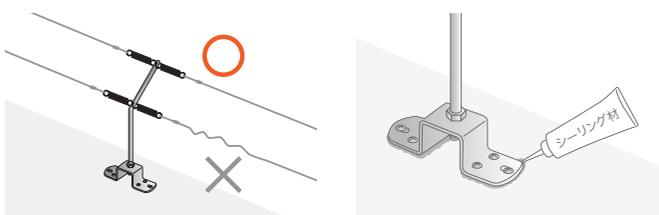
グリーンワイヤーシステム

- すべての設置箇所にもボルト・ビスなどの緩みがないか十分に点検を行ってください。
- 製品を固定する躯体などに強度不足がないか事前に点検して施工を行ってください。強度不足がある場合は補強工事を行ってください。
- ワイヤーのたるみすぎ・ゆるみすぎがあった場合は、スプリングや金具の調整を行ってテンションをかけて調整してください。



防鳥用ワイヤーシステム

- ハト個体の習性や施工箇所、周囲の環境によって効果は変わりますので防鳥効果の保証はできません。
- コンクリート躯体などに設置する場合は必要に応じてシリコンコーキングを打ってください。
- ワイヤーのたるみすぎ・ゆるみすぎがあった場合は、スプリングや金具の調整を行ってテンションをかけて調整してください。



ワイヤー

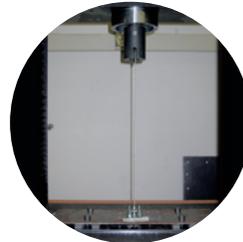
- ワイヤーを使用する場合には素線の破断、潰れ、折れ癖・ほつれなど、損傷の有無をご確認の上ご使用ください。



- ワイヤーの指定があるものは必ず専用ワイヤーを使用してください。
- ワイヤーを切断する場合は先端をバラバラにならないようにハンダ処理をすることを推奨いたします。
- ワイヤーの先端がほつれていると指先にワイヤーが刺さったりすることがありますので十分に注意して取り扱ってください。

許容荷重試験

- 許容荷重は当社が実施した荷重試験の結果を基に、当社規定の安全率で計算したものです。製品により社内以外の公共機関にて荷重・強度試験を依頼し厳しい品質管理を行っております。



ワイヤー強度試験

ワイヤー径に対して耐荷重が安全基準を満たしているか、すべてのワイヤー径に厳しいテストを行っております。



耐荷重試験

個々のターミナルが、どれだけの耐荷重を持っているかすべてのターミナルのテストを行っております。

WA-ATHM



使用ワイヤー
SUS304 (7×7) φ3

WA-ATHL



使用ワイヤー
SUS304 (7×7) φ6

WA-AWH



使用ワイヤー 304 (7×7)
φ3, φ4, φ5

WA-SW



使用ワイヤー 304 (7×7)
φ3, φ4, φ5, φ6

※スペースの関係上一部製品試験データのみ掲載しております。ご不明な点がございましたらお問い合わせください。